

評価者	市民活動部長	小池 忠紀
-----	--------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針

総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	スポーツ施設の整備
目標とすべきま ちの姿	市民ニーズの高いスポーツ施設が整備され、民間のノウハウも生かした幅広い施設運営により、市民のスポーツ活動が充足されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	平成26年度	30.1%	平成27年度	25.3%	(回答者全体に占める割合)
-----------------------	--------	-------	--------	-------	---------------

(2) 妥当性

<p>お金の使い方</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>使いすぎ</td> <td>ちょうどよい</td> <td>足りない</td> </tr> <tr> <td>必要以上の効果</td> <td>2.1%</td> <td>0.3%</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>ちょうどよい</td> <td>0.7%</td> <td>35.5%</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>効果不十分</td> <td>2.2%</td> <td>1.9%</td> <td>19.4%</td> </tr> </table> <p>平成26年度</p>			使いすぎ	ちょうどよい	足りない	必要以上の効果	2.1%	0.3%	0.2%	ちょうどよい	0.7%	35.5%	1.4%	効果不十分	2.2%	1.9%	19.4%	<p>お金の使い方</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>使いすぎ</td> <td>ちょうどよい</td> <td>足りない</td> </tr> <tr> <td>必要以上の効果</td> <td>1.4%</td> <td>1.1%</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>ちょうどよい</td> <td>1.3%</td> <td>38.6%</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>効果不十分</td> <td>2.7%</td> <td>3.6%</td> <td>17.7%</td> </tr> </table> <p>平成27年度</p>			使いすぎ	ちょうどよい	足りない	必要以上の効果	1.4%	1.1%	0.1%	ちょうどよい	1.3%	38.6%	2.1%	効果不十分	2.7%	3.6%	17.7%	<p>＜妥当性の分析＞</p> <p>お金の使い方、仕事の効果ともに「ちょうどよい」と答えた割合が平成27年度は38.6%と、選択肢の中では最も多くなっている。次に多いのはお金が「足りない」、効果は「不十分」の17.7%、次はお金は「ちょうどよい」、効果が「不十分」の3.6%であり、市民意識では、スポーツ施設の整備に対し「ちょうどよい」という印象が強い状況にあると捉えることができる。</p> <p>平成26年度との比較では、ちょうどよいの割合が35.5%から38.6%に3.1%増加している。</p>
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない																																	
必要以上の効果	2.1%	0.3%	0.2%																																	
ちょうどよい	0.7%	35.5%	1.4%																																	
効果不十分	2.2%	1.9%	19.4%																																	
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない																																	
必要以上の効果	1.4%	1.1%	0.1%																																	
ちょうどよい	1.3%	38.6%	2.1%																																	
効果不十分	2.7%	3.6%	17.7%																																	
<p>仕事の効果</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>使いすぎ</td> <td>ちょうどよい</td> <td>足りない</td> </tr> <tr> <td>必要以上の効果</td> <td>1.4%</td> <td>1.1%</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>ちょうどよい</td> <td>1.3%</td> <td>38.6%</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>効果不十分</td> <td>2.7%</td> <td>3.6%</td> <td>17.7%</td> </tr> </table>					使いすぎ	ちょうどよい	足りない	必要以上の効果	1.4%	1.1%	0.1%	ちょうどよい	1.3%	38.6%	2.1%	効果不十分	2.7%	3.6%	17.7%																	
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない																																	
必要以上の効果	1.4%	1.1%	0.1%																																	
ちょうどよい	1.3%	38.6%	2.1%																																	
効果不十分	2.7%	3.6%	17.7%																																	

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答	全体
平成26年度	22.1%	37.2%	4.8%	35.8%	100.0%
平成27年度	25.5%	38.9%	4.9%	30.8%	100.0%

2 内部評価

(1) 平成27年度の目標

山崎浄化センター西側建物の上部利用による検討及び基本設計を行うとともに、深沢地域整備事業における総合体育館及びグラウンドの整備に向けて引き続き関係課等と協議・調整を進める。

(2) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

整理番号	評価対象事業名	決算値(千円)		総事業費(千円)		職員数(人)		今後の方向性	
		平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	事業内容	予算規模
市民-35	体育施設整備事業	233	275	988	1,045	0.1	0.1	b	B

(3) 主な実施内容

【主な実施内容】
 スポーツ施設建設基金の運用を継続する。
 企業グラウンド(2カ所)を引き続き借用している。

【実施できなかった事業とその理由等】
 山崎ごみ処理施設建設の進捗状況を踏まえ、環境部と連携し、住民、スポーツ団体、学識経験者等を委員とする検討委員会を設置し、整備内容の検討を行い、検討業務(基本設計)に反映する。

(4) 平成27年度の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

スポーツ施設の整備における妥当性及び有効性について他市の先進事例の調査や過去に検討した施設整備内容の精査等が必要であると考えている。また、山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備の検討には、スポーツ関係団体や市民の意見を聞くことも重要であることから、検討委員会を設置し検討していきたい。

3 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性

総合体育館とグラウンド整備については、平成27年3月に策定された鎌倉市公共施設再編計画を踏まえ、深沢地域整備事業とも整合をとりながら具体的内容について今後検討を行っていききたいと考えている。また、スポーツ関係団体や市民の意見を取り入れ多面的な機能を備えた複合施設及び稼働率を上げる施策を検討していきたい。

いずれにしても、経営企画部・都市整備部・拠点整備部等関係部署と連携を図りながら検討していきたいと考えている。

競技スポーツの推進を図るため、公式競技の開催が可能な施設の整備の実現に努めるとともに、整備にあたってはPFI等民間活力の導入や、施設の複合化等について検討する。

民間施設の借用、県や他市町との広域利用も含め、市民が気軽にスポーツを楽しめる環境を整備する。

4 平成28年度の目標

本市のスポーツ施設の設置数は、同規模の地方公共団体と比較すると不足しており、十分な規模を有するスポーツ施設がないため、鎌倉市公共施設再編計画の策定に合わせスポーツ施設整備の検討を進めるとともに山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備の検討を進める。

深沢地域整備事業による総合体育館及びグラウンド整備に向けて引き続き関係課等と協議・調整を進める。

5 主な事業における指標(目標ごとに1つ)

整理番号	市民-35	事業名	体育施設整備事業					単位	円	指標の傾向	⇒	備考
指標の内容	スポーツ建設基金寄附積立金											
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31					
寄附金を基金に積み立てる	目標値	100,000	100,000	1,754,000								
	実績値	3,051	269,236									
	達成率	3.1%	269.2%									

参考 前年度外部評価結果への対応

<p>鎌倉市民評価委員会からの指摘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新施設については、多目的利用を勧告のうえ、整備願いたい。 ・新たなスポーツ施設整備への場所の確保が困難であるのは理解できるが、近隣に比べて少なく、既存施設も利用し難くなっている。人工芝グラウンド設置などの稼働率を上げる施策も必要である。 ・まちづくり計画、公共施設再編計画に積極的に参加することが必要である。 	⇒	<p>指摘への対応、コメント等</p> <p>総合体育館とグラウンド整備については、平成27年3月に策定された鎌倉市公共施設再編計画を踏まえ、深沢地域整備事業とも整合をとりながら具体的内容について今後検討を行っていききたいと考えている。また、スポーツ関係団体や市民の意見を取り入れ多面的な機能を備えた複合施設及び稼働率を上げる施策を検討していきたい。</p> <p>いずれにしても、経営企画部・都市整備部・拠点整備部等関係部署と連携を図りながら検討していきたいと考えている。</p>
--	---	--

鎌倉市民評価委員会の評価

《評価できるところ》

- ・山崎浄化センター西側建物の上部利用による検討及び基本設計を行うとともに、深沢地域整備事業における総合体育館及びグラウンドの整備に向けて検討を進めている。
- ・課題認識がしっかりとできている。
- ・住民主体の総合型地域スポーツクラブの設立に対し、設立、運営に向けた助言等側面的な支援を行っている

		評価の内訳						⇒	委員会の評価	
取組	↗	0	↘	0	→	8			→	
効果	○	0	△	4	-	4		△		

《課題》

- ・鎌倉市民の傾向として、鎌倉市内では具体的にどのような施設が足りてないのか、それゆえどのような検討が必要なのか議論を深めることが求められる。
- ・具体的な取組の方向が見えてこない。特に整備の遅れに対する要因が見えてこない。計画実現に向けたシナリオと時期を明確にしていくことが求められる。民間のノウハウも生かした幅広い施設運営を検討とあるが、具体的な方策が不明である。
- ・山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備の検討には、スポーツ関係団体や市民の意見を聞くことも求められる。
- ・公式競技の開催が可能な施設の整備の実現に努めるとあるが、実現の可能性が明らかになっていない。
- ・スポーツ施設利用者の公平性の確保が求められる。
- ・子育て中の母親はスポーツ施設より気楽に遊べる広場を欲しがっており、そのニーズ把握が求められる。
- ・2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、また、現在の健康志向を考えると、市内の施設の配備・整備はまだまだ足りていない。
- ・市民のスポーツ熱を上げるような取組はないものか。高齢化に伴った対応も急務である。方向性が出ているが、実際には変わっていない印象である。

《提言》

- ・整備にあたってはPFI等民間活力の導入や、施設の複合化等についての検討、民間活力の有効活用方策も検討すべきである。
- ・公共施設の再編に当たっては、各施設のステークホルダーの力関係による再編にならないよう、様々なニーズや将来性を踏まえて実施すべきである。
- ・他の市区町村に比して、山と海に囲まれ、一般的なスポーツに利用できる土地が少ない鎌倉市においては、その独自の環境を活かしたスポーツの振興を図るべきである。
- ・平成28年度の「新スポーツ施設基本設計立案」にあたっては既存の発想にとらわれない視点をもって取り組むべきである。